

HATTORI TATSUYA GOD IS IN THE DETAILS

服部竜也展 神は細部に宿る

2017年4月1日(土)～9日(日) 会期中無休



料金後納
ゆうメール

服部竜也展 神は細部に宿る

2017年 4月1日(土)～9日(日) 会期中無休

営業時間 11時～18時 作家在廊日 4月1日(土)

ギャラリーうつつわノート 埼玉県川越市小仙波町1の7の6

電話 049・298・8715

岐阜県土岐市で制作する服部竜也さん。地元の多治見意匠研でこの職に出会いました。それまで陶芸は未経験。入所後、濡いたスポンジが水を吸うように技術が身についていったそうです。天性の才があったのでしょう。手先の器用さを活かした細やかな仕事を得意とし、作る器の隅々まで神経が行き届いています。

「God is in the Details (神は細部に宿る)」。建築家ミース・ファン・デル・ローエが好んで使ったと言われていました。全体を整えてもディテールが疎かになっては美しさを失います。細部にこだわってこそ全体が作られる。服部さんのお仕事を見ていると頭に浮かんでくる言葉なのです。

服部さんの器の特徴は、金属質の釉薬をまとったシャープな形。皿・鉢・碗・カップなど食器全般を手掛けますが、最近は台湾や中国の需要に伴い、中国茶用の茶壺、茶杯などに取り組み機会が増えてきました。日本の茶器をさらに小さくしたそれらは、従来の手作業をさらに凝縮し、細部の切れに益々磨きがかかっています。今回はさらに、茶席を美しく設える鶴首の花入をはじめ小花器をいくつも作って頂きました。

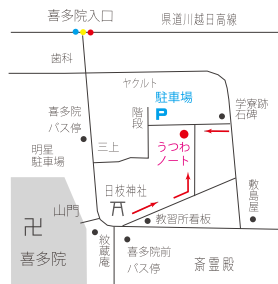
モダンな器を作る服部さんが、お茶やお花を通してクラシックな道具と融合していく。それは外形面だけでなく、古典と通じることで精神面からも器に神が宿りはじめてるように思えるのです。 店主

服部竜也 プロフィール

1978年 岐阜県多治見市生まれ

2004年 多治見市陶磁器意匠研究所修了

2017年 現在、岐阜県土岐市にて製作



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分

本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分

バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]

駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]

車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5～8番)

